

研究課題名	内受容感覚階層的適応制御モデルに基づくうつ病の層別化法の開発
研究期間	実施許可日 ～ 2028年3月31日
研究の対象	2009年8月から2025年12月の間に、広島大学病院精神科で下記の研究に参加された患者および健常ボランティアの方。 ・うつ病・躁うつ病・難治性うつ病の診断・治療法の創出のための脳機能画像研究
研究の目的・方法	研究目的：内受容感覚階層的適応制御モデルに基づき、うつ病に内在する生物学的異質性を、広島大学において蓄積された既存のMRIなどの脳画像データ（機能画像を含む）と関連する症候や行動データを統合的に解析することでうつ病の脳内メカニズムを解明し、よりよい診断・治療法開発に活用します。またMRIを用いない臨床的サブタイプ判定に資する基盤を構築することを目的とします。 研究方法：本研究は、過去に研究用に撮像し、対象者を識別できないように個人情報加工済のMRIデータおよび研究参加当時の質問紙・行動課題データを、二次解析します。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。
研究に用いる試料・情報の種類	対象者を識別できないように個人情報加工済のMRIデータおよび研究参加当時の質問紙・行動課題データなど
利用または提供を開始する予定日	2026年3月6日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学 教授 岡田 剛 研究機関の長 広島大学理事 田中純子
その他	本研究はMeiji Seika ファルマ株式会社からの共同研究費により実施し、本研究で得られた研究成果は、個人が特定されない形式で同社に報告しますが、研究の計画・解析・結果解釈および公表は研究責任者の責任の下に独立して実施し、企業から不当な影響を受けません。 また、本研究成果を基に、将来、Meiji Seika ファルマ株式会社と本学が新たな研究を共同で実施する可能性があります。ただし、その際には、あらかじめ倫理審査委員会での審査・承認後、研究機関の長の許可を得た後に実施します。その際は現在ご覧いただいているHPに情報を掲載し、拒否の機会を保障します。

<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問い合わせ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5479 広島大学病院 精神科 教授 岡田 剛</p>
----------------------------------	---